

事務事業評価シート

(H.30)No.	1352	(H.29)No.	1352
-----------	------	-----------	------

事務事業名	名張版ネウボラ事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	健康・子育て支援室	山崎 美穂	

会計区分	事業コード	251508
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 衛生費	母子保健事業	
項 保健衛生費	(小事業名)	
目 母子保健事業費	名張版ネウボラ事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	3	地域福祉の充実
	施策	3	子ども・子育て支援
重点プロジェクト	2.若者定住促進プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
産み育てるにやさしいまち“なばり”の実現に向けて、安心して子どもを産み育てることができるよう、妊娠出産育児の切れ目のない、相談、支援を行なう。
事業内容
「まちの保健室」や地域子育て支援拠点等に看護師等資格者をチャイルドパートナーとして配置し、健康・子育て支援室の母子保健コーディネーター(保健師・スーパーバイザーとしての助産師)とともに妊産婦に対して、きめ細かい相談、支援を行う。また、産科医院を退院した後の産後ケア体制を整備する。また、産前産後サポートとして、地域の子育て支援の充実を図る。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	妊産婦に対する相談・支援の実施、産前・産後のケア体制の整備 ・男の子育て孫育て講座 4回 ・おっぱいケア119件595,000円 ・宿泊型産後ケア4件337,500円	妊産婦に対する相談・支援の実施、産前・産後のケア体制の整備	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
			妊産婦に対する相談・支援の実施、産前・産後のケア体制の整備	妊産婦に対する相談・支援の実施、産前・産後のケア体制の整備	妊産婦に対する相談・支援の実施、産前・産後のケア体制の整備

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		4,071千円		5,718千円	4,018千円	4,018千円	4,018千円
内訳(千円)							
国・県支出金		3,266		3,427	2,577	2,577	2,577
地方債							
その他(繰入金ほか)		805		100	100	100	100
一般財源	0	0	0	2,191	1,341	1,341	1,341
人工数							
職員		0.95人		1.25人	1.25人	1.25人	1.25人
臨時職員等		0.98人		1.45人	1.45人	1.45人	1.45人
②概算人件費	0千円	7,156千円	0千円	9,916千円	9,916千円	9,916千円	9,916千円
①+②総事業費	0千円	11,227千円	0千円	15,634千円	13,934千円	13,934千円	13,934千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
<p>様々な主体が妊産婦に対してきめ細かい相談、支援を行ないコーディネートすることにより、産み育てるにやさしいまち“なばり”を実現し、安心して子どもを産み育てることができる環境を創ることや、人口減少・少子高齢化に歯止めをかけることにつながるために事業を実施する。子どもを産み、育てる喜びを感じることができる地域社会の形成を目指すとともに、核家族化・女性の社会参加など生活様式の多様化を踏まえながら、地域づくり組織との連携を見える化し、主任児童委員、民生委員児童委員等との協働により、地域の子育て支援の取組強化や課題解決に向けた支援をしている。人材の養成(子育て支援員研修、チャイルドパートナー研修等)やボランティア団体、助産師会、医療機関との連携体制を整備した。</p>

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
<p>国の「子育て世代包括支援センター」の位置づけによる交付金の活用など、妊産婦や乳幼児の保護者を対象とした相談支援員や助産師配置の取組を進める。従来の母子保健事業、子育て支援事業の効率の良い実施を目指す。産み育てるにやさしいまち“なばり”の実現に向け、妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を継続的に行う。</p>

6. 事務事業の取組に関する市の計画

<p>ばりっすすくすく計画 健康なばり21計画 地域福祉計画 男女共同参画基本計画</p>
